



NOTÍCIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Engenho, 16
Galaxia, M. Teleph. 2-3698
S. Paulo, Brazil
Proprietário e Editor
Seisaku Kuroishi
Assinatura
Por Ano.....25000
Semestre.....13000
Mez.....2200
Semana.....600

大使に隨行して 北西線を観る(九)

か、瀧谷君。君のやうな人が會ったに着任せる大官に對しては、それは良いことを聽かせて貰つた。自分等も何かの形式で多羅間頃事とのいきさつを、大使に申上げて、上申上申たいと思つてゐた。今夜萬事の上申上申されたら、紹介の労を取つて貰ひたいが何うだらうと云ふことであつたら、記者は

それは一向差支へないことだ。

答へて、一時過ぎ、三の人々

に送られてホテルに歸つたのである。

二

然る所翌廿二日の朝、記者は

車場へ送つて後歸つて見る。

日本会議の代表者がホテルに待受け、

山崎参事官のアリアンサ一行を停めて、

日本会議から、瀧谷會長、外二

名の代表者がホテルに待受け、

昨夜協議の結果大使に御目にか

けり度推參した、何うか御紹介

を頼むと云ふことであつたから

記者は直ちに其の由を申述べ、

三人を大使に紹介した。大使も

至つて氣輕に三人を引見し、愈々

其の問題なら實は想うだらうと

羅間比例から言葉巧みに説明せら

れる處へ多羅間領事入り來り、

其の問題なら實は想うだらうと

羅間比例から言葉巧みに説明せら

れたから、事少しく面倒とな

つて來た。

三

其處で瀧谷氏も黙つては居れ

ず、多羅間領事と取交はした交

渉書類を出し、大使の面前で日

本人會側の言ひ分を陳立たから

大使も其儘にしては措けず、壓

は勿論、在留民一部官憲との

として挨拶ありて後、ロイド・

ジョーデ氏は極はめて明晰なる

意味で、又は他の意味で

云ふことであつたから、記者は

(恒久和平) 在東京英國大使は國務卿クロック氏提案の恒久和平條約の公文書寫して日本の大外務大臣に交手した。之に關し日本政府の態度は未だ判然せざるも輿論は恒久和平を歓迎しつゝある。

シンガポール

(海賊船出没) 海岸一帯に支那海賊船出沒して商船を脅かし被害甚大なりて各航行船は武装に備へてゐる。

印 度

(教育費支出) ポンペイ文部大臣の公表する處に據れば昨年度の就學兒童數は二萬五千名の増加にして、これを五年前の學童數に比すれば十五パーセントである。

支 那

(中立國の態度を非難) 諸威國の一隻船は北洋軍人並に銃器彈薬等を滿載し上海方面に航行した、これに關し支那の新聞紙は中立國の態度を非難攻撃しつゝある。

佛 國

(速力七十浬の快速船) セルブルゴー組合間を六十時間にて快走する一隻船を建造した、同船は天候の如何に拘はらず何時にも航海を爲し得る最大速力七十浬、天候不良時の速力五十浬で、四月上旬處女航海に上る旨(航空路) 伊太利皇帝陛下はローラリ・クラブの名譽總裁を承諾あつた。(航空路) ローマ、ゼノバ、バルセローナ間の乗客飛行路を二月中旬から開始することになつた。



CASA ALOISE
ALFAIATARIA
J. ALOISE & LABADESSA
Rua da Liberdade, 53 — S. Paulo

内外製品カジミラ一切を取扱い在販売する當店では仕立ては迅速且つ安價に調製御奉ります。又に文書にて注文してお届けする最新式型の洋服を販賣する。



Y. Kinjô
Chirurgião
Dentista
Rua Vergueiro, 123
Tel. Avenida, 3384
São Paulo

金城山戸
歯科醫



過勞は屢々激しい頭痛や倦怠を起します之れに對する最善の薬剤は

(カフィ アスピリナ)

GFIAS PYRINIA

であります此の無害な手當は心臓や腎臓に不快な結果を與へずに苦痛並に嫌な感じを取り去ります尙ほ模造品を避ける爲めに次の様なを印御注意下さい



Hotel Democlat
R. 15 de Novembro, 34
Estação Araçatuba
Linha Noroeste

御旅館 デモクラット
清潔、町営、親切を旨とし、娛樂所を設け且つ日本式風呂場を備ふ

YAMA-K. SHOKAI
SHIP-CHANDLERS
Rua General Camara, 133 SANTOS

K 合資商會
大阪商船株式會社
日本郵船株式會社
國際汽船株式會社
御用達
各艦船食糧品販賣業
前田吉友郎
南米サントス市
ジエラル・カマラ街一三三
電話セントラール一四七

第五詳記したる書面を封入する場合は是に關する事項に於けること

第六又合者料八百レースを更に二百レースを加へ計六ミル二百

第七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第二十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第三十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第四十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第五十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第六十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第七十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第八十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十二又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十三又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十四又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十五又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十六又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十七又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十八又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第九十九又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第一百又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第一百零一又本證明書を當館へ回送する場合は是に關する事項に於けること

第一百零二又本證明書を當館へ

私はさうして放浪の途に出た。それもたゞ一人で、誰れにも相談せず、親達にさへ無断で、無錢旅行の放浪に向つたのだつた。私は今ミナス州の國境より十五里ばかり離れたシャバードンと云ふ寒村のエスター・ソンで、ウス暗ひ電燈の光をたよりに、あんな創作でも、お読みになつて下さる皆さまで、放浪の第一信を書いて居ります。

今夜の十時四十五分に發車して明朝の五時頃ミナス州のマンガベイーラに着く豫定です。汽車賃二十三ミルを拂ふと一ミル二百レースしか残りません。未知の世界を無一物で點々としてさまよふ若い旅人の胸は、現實的苦痛と、過ぎ行く思ひ出に言ひ知れぬ痛快さを感じ乍ら、次から次のエスター・ソンを涙に暮れた一夜の旅宿を定め、行衛定めぬさすらいの旅に向つて居ります。お前は、そうした事に依つて何を得やうとするのか。單なる理想と憧れに彷徨ふのじあなたがい。生活は……眞理は……社會にあるのじしない、自分自身の魂のうちに存するのだ……私の魂はいつも懲う叫んで居ります。

いえ……でも、今迄の私の生活は苦しみが無かつた。血の出るやうな煩悶がなかつた。私は真の人間的苦しみを知りたい。實社會に生くるもの、生活的の悩みを知りたい。そして全人類の生活に依る宗教的概念の上に自分自身の人生觀を築き上げて行きたい。もつて、血の出る程苦しんだ機みど涙とに洗禮された生活を見出したい。そこに「生ける者の惱み」が生れる。我々は悩まなくちあならない、涙を流さなければならぬ。惱む所のみ偉大なる理想と盛大

不經濟な事であつた
深く考へれば淺薄な言動は
恐しきものなり
善良を氣づかず
苦しみ偽付けるものならずや
醒めよ
醒めてほしいものだぞ
私は静かに合掌しつゝ
心の内に念する

An illustration of a traditional Japanese-style wooden bridge with a railing, spanning a body of water. Two figures are walking across the bridge; one appears to be carrying a load on their back. The background shows stylized trees and foliage.

